



開校40周年記念

柴高通信



宮城県
柴田高等学校
2026.5.15
第2号

本校では、学校生活を通して生徒同士のつながりや主体性を育むため、様々な教育活動を実施しています。本号では、特色ある取組の一部を紹介します。

校歌練習を通して育まれる一体感



本校では、毎年四月に全校で校歌練習を実施しています。今年度は4月20日から25日までの期間、毎朝の時間を活用しながら、全校生徒が校歌に親しみ、**学校への帰属意識や一体感を深める活動**に取り組みました。

練習は午前8時35分の校内放送にあわせて行われ、今年度からは**全クラスがベランダに出て実施する形**となりました。開放的な空間の中で、生徒たちは周囲と声を合わせながら校歌を歌い、校舎全体に歌声が響き渡りました。

特に体育科の生徒たちの力強い歌声が全体を引っ張り、その姿に刺激を受けながら、他の生徒たちも徐々に声を重ねていく様子が見られました。初めは緊張や戸惑いも見られましたが、日を追うごとに**学年や学級を越えて歌声にまとまりが生まれ**、生徒同士のつながりや学校全体の一体感が感じられる時間となりました。

練習後には自然と拍手が起こる場面もあり、校内は温かな雰囲気にも包まれていました。本校では、こうした日々の活動を通して、**生徒一人ひとりが学校への愛着を深め、互いを認め合いながら成長できる学校づくり**を進めています。

進路実現に向けた第一歩 — 3学年進路ガイダンス I (分野別集会) —



大学・短大進学希望者集会

進路決定学年となる3年生を対象に、4月15日(水)6校時、「3学年進路ガイダンス I (分野別集会)」を実施しました。

このガイダンスは、生徒一人ひとりが**自らの進路について改めて考え、希望実現に向けた一年間の見通しを持つこと**を目的として行われたものです。



各種専門学校進学希望者集会

当日は、事前の進路希望調査をもとに、生徒たちは大学・短大、看護・医療系、専門学校、民間就職、公務員の五つの分野に分かれ、それぞれの会場で説明を受けました。

各会場では、年間の活動スケジュールや受験・就職までの流れに加え、模擬試験や課外講習の活用方法、奨学金

制度などについて**具体的な説明**が行われました。また、就職希望者には求人票の見方や就職活動の進め方、公務員志望者には試験対策や学習方法についての説明もあり、生徒たちは**メモを取りながら真剣な表情で話に耳を傾けていました**。



看護系進学希望者



民間就職希望者



公務員就職希望者

今回のガイダンスを通して、生徒たちは**自分自身の進路をより具体的に考える機会**となりました。本校では、今後も**生徒一人ひとりの進路希望に応じた支援**を行いながら、それぞれの目標実現に向けた取組を進めてまいります。

新入生を迎える対面式・部紹介を実施



4月10日（金）に体育館において対面式および部紹介を実施しました。

対面式では、新入生と在校生が初めて顔を合わせ、**柴田高校の一員として新たな学校生活をスタートさせる場**となりました。生徒会長からは、「困ったことがあれば一人で抱え込まず、仲間や先輩、先生方を頼ってほしい」と歓迎の言葉が贈られ、新入生代表生徒からは、温かく迎えられたことへの感謝と、高校生活への決意が述べられました。

また、対面式後には、生徒会による学校行事紹介が行われ、年間行事や学校生活の様子について説明がありました。新入生たちは映像や説明を通して、**高校生活への理解を深める様子**が見られました。

続いて行われた部紹介では、運動部・文化部合わせて24の部が参加し、それぞれが活動内容や特色を工夫しながら紹介しました。各部は映像や実演を交えながら発表を行い、新入生にとっては**部活動の魅力や学校生活の広がりを感じる機会**となりました。



今回の対面式・部紹介を通して、新入生にとっては高校生活への期待を高める時間となり、在校生にとっても後輩を迎える喜びを感じる機会となりました。**新たな仲間を迎えた柴田高校で、これからさまざまな学校生活が始まっていきます。**

卒業生インタビュー

立命館大学1回生 蓑島竜人さん

本校を今年3月に卒業し、それぞれの進路で新たな一步を踏み出した先輩たちに、高校時代の取り組みや進路選択のきっかけ、現在の様子、そして後輩へのメッセージを聞く「卒業生インタビュー」をスタートします。第1回は、大学進学後も競技と学びの両立に取り組んでいる卒業生にお話を伺いました。

★現在の進学先について教えてください。★

立命館大学産業社会学部現代社会学科人間福祉専攻に進学し、現在は1回生として学んでいます。

★高校時代、学習面で特に意識していたことは何ですか。★

正直、勉強はあまり得意ではなかったので、**評定平均 4.0 以上を維持することを目標に取り組みました。**

★学習以外で力を入れていたことはありますか。★

ウエイトリフティング部に所属し、**毎日コツコツと練習を重ねました。**その結果、インターハイや全国選抜に出場し、結果を残すことができました。

★現在の進路を決めた時期ときっかけを教えてください。★

高校3年生の時に、大学から声をかけていただいたことがきっかけで決めました。また、兄も同じ大学でウエイトリフティングをしており、その姿を小さい頃から見ていたことも影響しています。

★試験対策で特に力を入れたことは何ですか。★

小論文です。文章を書くのが苦手だったので、**タイマーで時間を測りながら何度も練習しました。**

★柴田高校の良さはどんなところだと思いますか。★

運動部が盛んで、各部がインターハイなどの全国大会で結果を残しているところです。

★将来の夢について教えてください。★

資格を取得し、親の会社を継ぐことです。

★最後に後輩へのメッセージをお願いします。★

自分の目標を早い段階で明確にし、それに向けて計画的に取り組むことが大切です。周囲に流されず、自分のペースで努力を続けてください。**高校での努力は将来の選択肢を大きく広げます。**また、高校生活は3年間しかないなので、勉強と両立しながら、たくさん遊ぶことも大切にしてください。

本インタビューからは、**目標を定めて努力を積み重ねることの大切さ**と、日々の取り組みを継続することの意義が伝わってきました。高校生活の一つ一つの経験が、その後の進路や成長につながっていることを改めて感じさせられます。

